

県内へのアフリカ豚熱ウイルスの侵入を防ぐためのお願い

アフリカ豚熱は国内での発生はありませんが、アジア地域を含む国外で発生が確認されているため、**県内への侵入を防ぐことが重要**です。

侵入経路 ①

豚肉に付着



- 豚肉の入った製品を
➤ 県内に持ち込まない



海外からの肉類、肉製品の国内持ち込みは法律で禁止されています！

侵入経路 ②

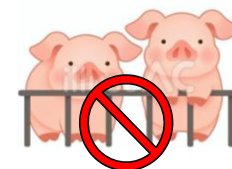
ヒトに付着



- 空港・港では
➤ 指示に従って消毒



- 帰国後1週間、
➤ 家畜の施設に近づかない



豚やいのししの飼養農家の皆様は消毒の徹底など防疫対策を強化していただき、異状が確認された場合は最寄りの家畜保健衛生所へ速やかにご連絡ください。

【お問い合わせ】
沖縄県農林水産部畜産課
098-866-2269



第4回 ちゅううちな一草の根平和貢献賞



2年に1度、平和で豊かな地域社会の実現を目指すため、沖縄県内において身近な社会貢献活動に取り組む方々（一般部門、学校関係部門）を表彰する。

表彰式

日時：令和7年12月13日（土）

13時30分～14時10分

場所：沖縄県市町村自治会館 2階ホール

同時開催：沖縄平和賞シンポジウム

14時25分～16時00分

登壇者：

認定NPO法人 ヒューマンライツ・ナウ

副理事長 伊藤和子 氏

-平和と人権は国境を越えて-

他、県内大生とのトークセッション開催



受賞者

1 一般部門（3団体）

- ★ 那覇青少年舞台プログラム
- ★ 又吉弦貴 氏（中学校教諭）
- ★ 株式会社沖縄物産企業連合

2 学校関係部門（2団体）

- ★ 那覇市立安岡中学校 演劇団
- ★ 沖縄尚学高等学校 地域研究部

担当課

平和・地域外交推進課 TEL 098-894-2226

沖縄観光感謝の集い 2025 長野



「長野県及び沖縄県の交流連携に関する協定」に基づく、長野県と沖縄県の交流連携と相互の観光誘客の推進、沖縄観光PRの交流催事を長野市内で開催

行事概要

主催/共催

沖縄県、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

開催日

令和7年12月19日（金）

開催地

長野県長野市

内容

- 那覇空港・信州まつもと空港間
直行プログラムチャーター便利用による相互往来PR
- 交流催事「沖縄観光感謝の集い」開催

催事招待者

長野県知事、（一社）長野県観光機構、
長野県内観光、交流、文化関係者ほか
150人程度



【問い合わせ先】

文化観光スポーツ部 観光振興課

098-866-2764

担当： 前原、天野、幸地

沖縄観光将来世代への約束

沖縄サステナブルツーリズム宣言

Okinawa Sustainable Tourism Declaration

令和7年11月



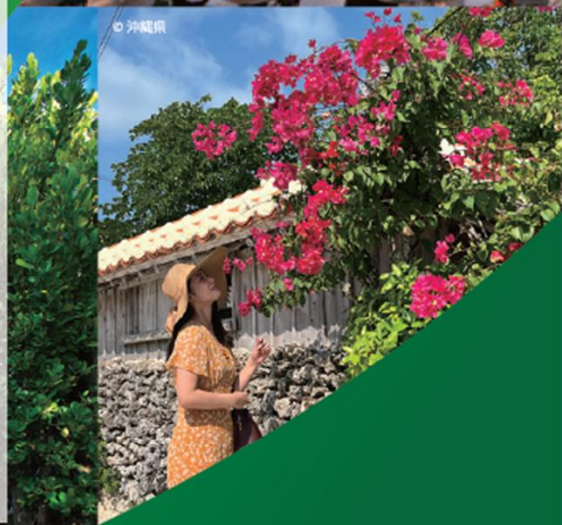
宣言を策定した目的

将来世代の沖縄観光を共に創る

沖縄の貴重な自然や文化、そして平和な社会を将来世代に継承するとともに、より良い環境・社会・経済を築くための重要な役割を沖縄観光は担っています。

その役割を、責任を持って果たしていくため、沖縄観光は観光が持つポジティブな面とネガティブな面を改めて見つめ直し、県民の健やかな生活と幸福を基盤に、旅行者、事業者、県民それぞれの間の対話を深めた観光を進める決意をしました。

持続可能な観光を目指すうえでは、量から質への転換が重要であり、**県民・事業者・旅行者の三者による協働が不可欠**であることから、沖縄県が目指すサステナブルツーリズムのあり方や行動指針を示すため、**都道府県では全国初の「沖縄サステナブルツーリズム宣言」**を発出します。



宣言の発表

沖縄県が目指すサステナブルツーリズムのあり方（概念図）



三方良しを目指す「世界から選ばれる持続可能な観光地」

沖縄県のサステナブル
ツーリズムのあり方や
県民・事業者・旅行者の
行動指針を策定

沖縄サステナブルツーリズム宣言

宣言の概要

私たちが目指すのは、「観光があることで、地域がさらに豊かになる仕組み」です。沖縄サステナブルツーリズム宣言では、その実現に向けた12の約束ごとを、4つの分野に分けて策定しました。



県民生活・調和



- ①観光が県民生活に与える影響を十分に考慮し、適正な管理によって観光と地域が調和する仕組みを築きます。
- ②観光収益が地域社会に循環し、県民生活へ還元されることで、県民と旅行者がともに快適に過ごすことのできる社会を実現します。
- ③これらの約束を守るため、各主体が自律的に行動し、観光があることでさらに地域の自然・文化・経済・県民生活が豊かになる仕組みを目指していきます。



自然・環境



- ①沖縄の豊かな自然環境を将来世代に引き継ぐために、適正な管理によって環境に与える負荷を最小限に抑える観光を目指します。
- ②負荷を抑えるだけでなく、生物多様性豊かで美しい海や森の魅力を伝えながら、利用と保全のバランスによって自然がより豊かになる観光を目指します。
- ③地域の自然とともに、地球全体の環境に目を向け、脱炭素社会の実現へ観光の面からできる貢献をしていきます。



文化・伝統



- ①文化・伝統・芸能について、真正性を守りながら、その魅力と本来の意義を正しく伝え、地域の誇りと文化の継承へと繋げていきます。
- ②沖縄の文化・伝統の魅力を活かすことで、さらなる価値を生み出し、地域の文化と産業の振興に貢献する観光を目指します。
- ③うちなーんちゅが大切に受け継いできた独自の考え方や精神性を、旅行者と県民がともに理解し、尊重することで、文化と精神を未来へと継承していきます。



雇用・経済



- ①観光産業従事者の社会的な地位向上に向けて、雇用・待遇の改善を図り、安心して働き続けられる、誇りと魅力のある観光産業を実現します。
- ②新規需要の開拓と平準化の促進、地産地消による域内調達の強化、産業間連携による波及効果の増大等を図り、「稼ぐ沖縄観光」を実現します。
- ③再生可能エネルギーや SDGs の取り組みと最新技術の積極的導入を掛け合わせ、島しょ型の新たなビジネスモデルケースを創り上げていきます。

行動指針の発表

この宣言を実現するため、私たち一人ひとりが、日々の行動を変えていく必要があります。行動指針では、「旅行者」、「事業者」、そして「県民」の皆さまに向けた具体的な取り組みをまとめました。

旅行者

- ① 沖縄の豊かな自然を大切に守り、未来へ引き継ぐ
- ② 地域の文化と暮らしを尊重し、配慮する
- ③ 地元のことを積極的に選び、地域を応援する
- ④ 地域の未来を育む活動に参加する
- ⑤ 地域の人々と心を通わせ、互いに学び合う
- ⑥ ゆとりある旅で、沖縄の新たな魅力を発見する
- ⑦ 環境負荷の少ないスマートな旅を実践する
- ⑧ 地域に寄り添い、沖縄の未来を共に築く

事業者

- ① 沖縄の自然環境を保護し、積極的に再生に貢献する
- ② 沖縄の伝統を守り、文化の魅力を高め、将来世代へ継承する
- ③ 地域雇用を創出し、働きがいのある職場環境を築く
- ④ 地域との連携を深め、共存共栄を目指す
- ⑤ 最新技術とおもてなしを融合し、ユニバーサルな観光を推進する
- ⑥ 旅行者と地域住民の対話を促進し、相互理解を育む
- ⑦ 経済効果を還元し、地域の豊かさに貢献する
- ⑧ 責任ある経営で、業界全体の信頼を確立する

県民

- ① 沖縄の自然を守り、環境に優しい行動をする
- ② 地域の歴史と文化を尊重し、将来世代へ継承する
- ③ 温かい心で地域を彩り、訪れる人々を歓迎する
- ④ 地域経済を支え、共に発展する
- ⑤ 観光と暮らしの調和を図り、より良い地域を築く
- ⑥ 地域の一員として主体的に行動し、沖縄の未来を創造する

沖縄サステナブルツーリズム宣言 愛称及びビジュアル募集

沖縄県では、県民の健やかな生活と幸福を基盤に、旅行者、事業者、県民それぞれの対話を深めた観光を進めるため、都道府県では全国初の「沖縄サステナブルツーリズム宣言」を発出しました。

その理念を表現するものとして、「沖縄サステナブルツーリズム宣言」の愛称及びビジュアルを以下のとおり募集します。

① 募集期間

令和7年11月28日(金)～ 令和8年1月26日(月)17時まで

② 募集概要

(1)内容

沖縄サステナブルツーリズム宣言の理念を表現したもの

(2)部門

- ① 愛称部門:宣言の理念を簡潔に、印象的に伝える愛称
- ② ビジュアル部門:宣言の理念を表現したビジュアルデザイン(写真、イラスト、グラフィック等、表現手法は自由)

(3)要件

- ① 愛称は日本語で表記された未発表のオリジナル作品とする
- ② 年齢、性別、国籍、身体能力等の個人差に関わらず、できるだけ多くの人に情報が伝わるよう配慮したりするなど、ユニバーサルデザインを心掛けること
- ③ 応募者が創作した未発表のオリジナル作品であり、第三者の著作権などの権利を侵害しないもの
- ④ 応募点数は各部門1人1点以内

③ 応募資格

プロ・アマ、個人・団体を問いません。 ※未成年の方が応募される場合は、保護者の同意が必要です。